

〔編集・発行〕

西会津町総合計画策定プロジェクトチーム

(庶務 企画情報課)

電話 45-4536 FAX45-4199

E-mail kikaku@town.nishiaizu.fukushima.jp

みらい

次期総合計画の検討作業が始まりました



町では、町の将来像や目標、それを実現するための取り組みなどを掲げる次期総合計画の策定に着手しました。

平成31年度を初年度とする次期総合計画づくりは、平成20年4月に施行された「西会津町まちづくり基本条例」に基づき、町民の皆さんに参加していただきながら進めていくこ

とになります。

そのため町では、町民の皆さんから意見やアイデアをいただくため、30名で組織する「総合計画検討会議」を設置し、第1回目の会議を1月24日（水）に開催しました。

会議では、委員を代表して伊藤祐介委員に委嘱状が交付され、その後総合計画の概要とまちづくり基本条例に基づくまちづくりの進め方や総合計画の位置付けなどの説明を行いました。

続く第2回目の会議は、2月21日（水）に開催しました。

はじめに町長から、「これからのまちづくりについて」と題して、人口減少が進む中でのまちづくりの考えについて講話がありました。



薄町長によるまちづくりの講話

続いて、会長・副会長の選任を行い、委員の皆さんによる互選の結果、会長に秦千代栄委員（さゆりが丘）、副会長に紫藤眞理子委員（下野尻）と津川由紀委員（西原）に決定しました。



会長に選出された秦千代栄委員

その後、労働人口などの統計数値を確認したり町の地域資源や良いところ、困っていることについてグループで意見を出し合ったりして町の現状について共有をしました。次回は、これらの意見をもとに「将来どのような町になったらいいか」について検討していきます。

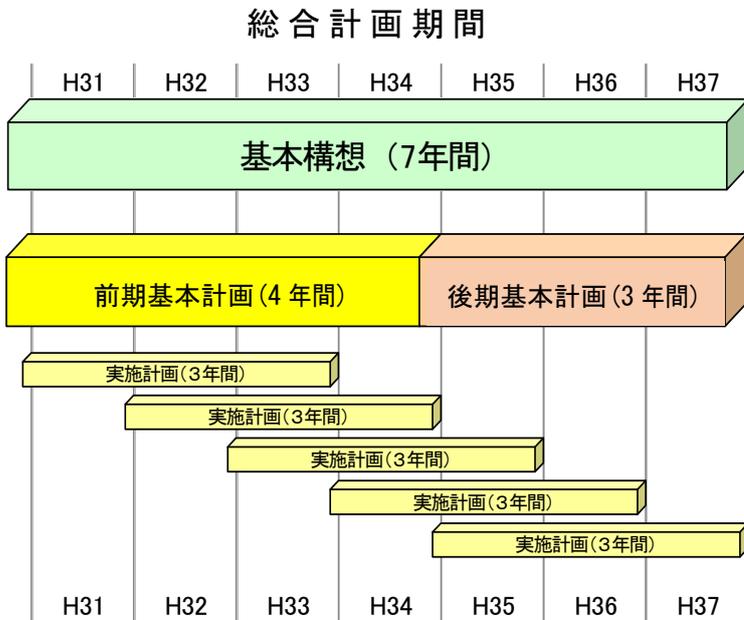
今後、月に1〜2回会議を開催し、役場内での計画づくりの作業の中心となる「総合計画策定プロジェクトチーム」の25名の職員と連携しながら、新しいまちづくりの計画を検討していきます。

（裏面をご覧ください）

◆総合計画の概要

総合計画は、町の憲法に位置付けられる「まちづくり基本条例」で定められたまちづくりの最も基本となる計画であり、その内容は、生活環境や産業、保健・医療・福祉、教育など、町が行うまちづくり全般にわたっています。町の事業は、総合計画に基づいて実施されています。

総合計画は、まちづくりの指針として町の将来像や目標を示す「基本構想」、それを実現するための具体的な取り組みを定める



「基本計画」、そして具体的な事業や実施年度、事業費などを定める「実施計画」の3つで構成されています。

現行の総合計画の期間は、平成22年度から平成31年度までとなっていますが、町を取り巻く社会情勢は大きく変化し、平成27年度からは、人口減少社会に対応するための「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく取り組みが始まるなど、町の将来像やまちづくりの取り組みについて改めて検討する時期が到来していると考えられます。

このことから、現行の計画期間の終了を待たず、平成31年度を初年度とする7年間の次期総合計画の基本構想と4年間の前期基本計画の策定作業を進めます。

総合計画づくりのスケジュール

平成 30 年	
1 月	「総合計画検討会議」、「役場プロジェクトチーム」を設置
2～11 月	検討会議とプロジェクトチームが連携した検討作業
11 月	「町民懇談会」、「意見公募」の実施
12 月	町議会へ提案
平成 31 年	
4 月～	新しい総合計画によるまちづくりがスタート

総合計画検討会議委員の皆さん、よろしくお願いします。(順不同・敬称略)

伊藤 優一 (屋敷)	伊藤 祐介 (徳沢)	岩橋 義平 (中町)
大竹 トヨ子 (原)	大出 伸男 (大久保)	小川 美農里 (安座)
折笠 みゆき (5町内)	齋藤 貴子 (西林東)	佐々木 祐子 (上野尻)
佐藤 延子 (宝川)	紫藤 真理子 (下野尻)	杉原 辰徳 (松尾)
鈴木 百合子 (山口)	武樋 孝幸 (大舟沢)	津川 由紀 (西原)
仲川 久人 (呼賀)	橋谷 田 淳 (2町内)	長谷川タケ子 (下野尻)
秦 千代栄 (さゆりが丘)	布施 慶久 (5町内)	星 享子 (4町内)
星 敬介 (上野尻)	星光 輔 (4町内)	本間 義治 (西林)
室賀 英之 (萱本)	築田 新一 (松尾)	八幡 修二 (芝草)
矢部 佳宏 (中ノ沢)	渡部 晋 (縄沢)	渡部 照幸 (黒沢)

これから進める総合計画づくりについて、町の皆さんにその経過をお知らせするため、随時「みらい」(本紙)を発行していきます。